

編 集 後 記

近年、多くの医学学術雑誌の電子ジャーナル化が進み雑誌の管理方法や利用環境が大きく変化してきました。臨床神経学では平成20年1月から電子ジャーナルがスタート、平成21年11号からは紙媒体での出版がなくなり電子ジャーナルのみになっています。異論もあると思いますが、長年にわたって紙媒体を管理するにはスペースを確保することが難しく紙媒体がないことを不便に感じなくなりました。電子媒体は管理が容易であり、インターネット環境があればいつでも簡単に文献検索が出来るので、たいへん便利です。そこでいつも気になるのは著作権の問題です。当然ですが、個人の学術研究や教育目的以外の利用、電子ジャーナル論文（PDFファイル）の第三者へのメール送付などは原則禁止されています。電子ジャーナルでは鮮明な図表を電子的に取得できるのですが、その利用も著作権法に従うことが必要です。よって、学会発表スライドや論文への転載などをどのように対応すれば良いか理解が必要です。実際に経験する場面としては、①著作権法上の権利制限規定（自由に利用できる例外を定めた規定）に当たる

場合（引用、教育での利用など）と、②著作権者から利用の許諾を受ける場合が多いと思います。臨床神経学ではWEBページに転載許諾に関する規程が掲載されており、許諾対象は図表のみに限定されています。非営利目的での転載は、1) 論文、書籍、教科書、Webへの転載は記載されている手順で転載利用の申請（無償）を行い、2) 学会発表、ミーティング、カンファレンス、授業で使用するスライド・配付物への転載等では許諾を求めることなく利用できます。ただし、出典の明示が必要で改変はできません。営利目的での転載は、有償での利用が可能で、図表の一部を改変したり翻訳したりする場合は、必ず筆頭著者（2021年11月20日の理事会以降は、責任著者 Corresponding Author に変更予定）の許可を得てから転載申請を行うことになります。一方で、臨床神経学への投稿論文に著作権が存在する図表などを転載する場合は、著作権者から許諾を取得して転載することになります。臨床神経学への投稿を検討される際には参考にして下さい。

（古賀 政利）

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長	小野寺 理	編集副委員長	三澤 園子
編集幹事	石浦 浩之	漆谷 真	杉江 和馬
編集委員	今井 富裕	木下 真幸子	古賀 政利
	下畑 享良	鈴木 匡子	辻野 彰
			坪井 義夫
			中嶋 秀人
			新野 正明
			櫻井 圭太
			柴田 護

「臨床神経学」	第61巻 第11号	2021年11月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		戸 田 達 史
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>